

● Top Message

懸念されていたことですが、昨年来の新型コロナウイルスの悪影響は一向に回復に向かいません。むしろこの環境下、いかにこれと折り合いをつけリスクを回避しながら「ウィズ・コロナ」で企業活動を持続していくかが問われるところでしょう。

当社は来年で創業100年を迎えます。これに合わせ本年4月より始動する中期経営計画（中計）『オール大紀Sustainability Vision～100年企業 その先へ～』（2021年度～2023年度）を策定しました。昨年後半から中計メンバーがリモートでありながら高密度な会合を繰り返し短期集中で完成したのが本中計です。

過去の中計と大きく異なる点は、まず2030年に向かったの10年ヴィジョン『DAIKI ∞ NEXT ∞』を策定しそれを起点に逆算してその第1章と本中計を位置付けた点です。その結果として国際社会の目指す共通目標であるSDGsの概念やESG投資を強く意識して組み立てたものとなっています。

当社の事業そのものがリサイクルであり環境対応とは不可分であることはこれまでも強く意識していましたが、今回のように少し距離を置いて大きな文脈の中で位置付けたのは初めてかも知れません。そうした流れで改めて「SDGs・ESG」が求めているものが当社事業の根幹に係わるとの認識に立つと、本中計は当社の「SDGs宣言」となるのかも知れません。

「まず利益を出してその一部を社会還元する」という考えではなく「社会の求める目標に沿った形で利益をあげ、企業価値を高める」という取り組みで一皮むけた当社の在り方を目指したいと考えています。



代表取締役社長

山本隆章